

保護者各位

「自己評価のご報告」

日頃より保育運営にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

今年度も残り1カ月となりました。コロナウイルス感染症の位置付けが変更されまた新たな1年となりました。保護者様にご参加頂く行事を段階的に取り入れ、「親子ふれあい運動会」「生活発表会」と大きな行事を無事に行うことができました。それも、保護者様のご協力あっての行事開催となっております、心より感謝申し上げます。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「社員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

1. 保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタキッズ浦和常盤園

回答率：65%

No	質問項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	57%	23%	20%
2	当社社員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	89%	9%	3%
3	当社社員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	89%	11%	0%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	91%	9%	0%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	71%	26%	3%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの当社社員の対応は信頼できますか	86%	11%	3%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	83%	9%	9%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか	80%	20%	0%
9	当園に満足されていますか	63%	9%	29%

【項目1】 当社の保育理念・保育目標について理解していますか

半数の方にご理解頂いている一方、半数の方がどちらともいえない・いいえとのご回答がありました。

当社の保育理念は、「日々の丁寧な関わりによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子どもを育てること」を掲げています。

今後の課題としましては、保育理念だけでなくクラスごとの目標を保護者のみなさまの元へしっかり届けていけるよう、職員も意識していきながら保育計画に落とし込んでいきたいと思えます。

【項目2】 当社社員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか

いいえ・どちらともいえないに回答されている方が11%おり、大切なお子様をお預かりしている中で、このようなお気持ちにさせてしまっていること大変申し訳ございません。

集団の生活の中で過ごしている子ども達ですが、時には気持ちがのらないときもあります。その中で、お話しできるお子様につきましては【どうしたいか】をきちんと聞くことによってお子様の気持ちを受け止め働きかけております。しかしながら回答を見ますと、職員全員が出来ているとはいえない現状です。今後、一人一人が意識ながらお子様の気持ちを大切にしていけるよう、研修や職員会議を通して具体例を出していきながら個々が保育の見直しを行い、丁寧な関わりをしていけるよう改善に努めて参ります。

【項目3】 当社社員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか

どちらともいえないに回答されている方が11%おりました。

態度や言葉遣いにつきましては、子どもへの言葉のかけ方、職員同士が会話をする時、保護者様とお話する際にも、正しい言葉遣いとなるよう【項目2】同様、個々でも見直ししながら十分に気を付けて参ります。

何か気になることがございましたらお声がけ頂けると幸いです。

【項目4】 保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか

ほとんどの方にご満足いただいておりますが、「どちらともいえない」に回答されている方もいらっしゃいます。昨年同様、掃除分担をしながら各階掃除を行っております。掃除方法を変えたり、目のいき届かない部分を管理者が補ったり土曜保育時に普段出来ない場所の掃除を行っております。しかしながら、整頓が行き届いていないクラスがあったり、衛生的に気になる箇所が見られたりと、まだまだ改善が必要だと感じる部分がございます。

「布団が清潔にみえない」とのご意見もあり、幼児クラスにつきましては、布団を入れる押し入れの上下を途中から反対にして対応、布団敷きの前の掃除方法、また週末の布団

出しの際にはゴザを敷くなど改善いたしました。
今後も皆様に気持ちよくご利用頂けるように努めて参ります。

【項目5】安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか

いいえ、どちらともいえないに回答された方が29%おります。

年度の途中では、2歳児室の入口ドアの間に絵本が挟まったことによるドアの不調や2階入り口のドアの修理が終わるまでの間解放状態となりご不便をお掛けし、また安全面ではご心配をおかけし申し訳ございませんでした。

安全面につきましては、保育室内の手の届く場所に危険な物を置かないようにしていましたが、一部のクラスでは整頓されていない状態の中で子どもの手の届く場所に置いたままの状態になることがあり注意を促しました。

また、戸外に出る際には子どもの人数やその日の子どもの状況によって、職員の増員・戸外の判断をしております。また、各クラスでお散歩カードを使用し園児の人数把握をおこなっています。こちらにつきましては、継続して行って参ります。

戸外先での危険な場所・危険行為があった際には、全体に共有し同じことを繰り返さないように注意し、同じ公園に行っている場合には、クラスを超え職員同士が助け合いながら対応しております。

夏場の水遊び、戸外につきましては「さいたま市の暑さ指数」を元に、判断しております。水遊び終了後からの戸外散歩につきましても、暑さ指数に応じ行き先の日陰の状況など確認した上で管理者が戸外時間を設定し、個々の勝手な判断で動くことのないよう活動範囲を統一化しております。

感染症対策につきましては、インフルエンザやコロナウイルス感染症によるクラスターが出ることなく、おかげ様で1年過ごすことができました。しかしながら、溶連菌や胃腸炎といった感染力の強い風邪症状につきましては、一気に感染が広がってしまうことがありました。

情報開示の方法としましては、お休みが多く出ているクラスのみへコドモンで配信したり、全体へコドモン配信・玄関にて掲示お知らせしたりすることで感染状況の共有を図りました。

園としましても、極力感染を防げるように合同保育を減らし各クラスで保育を行えるように配慮しております。

今後も迅速な情報共有、玩具の消毒、換気などの感染症対策に努めて参ります。

【項目6】 お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの当社社員の対応は信頼できま

すか

いいえ、どちらともいえないに回答されている方がおり、全員の方に信頼していただけますように今後も努めて参ります。

熱はないが、食欲不振・普段の様子と違うと感じた際や湿疹の症状などが見られ、すぐに消えてしまうと思われる場合には、写真を添付しコドモンの個別連絡にて報告させて頂いております。お迎えの際に知るのではなく、事前に把握できるようにするためにも、今後も必要に応じ対応して参ります。

体調不良による早退時、クラスや園全体で複数人同じ症状が出ている際には、症状が軽症の場合でも24時間経過後の登園をお願いすることもございます。集団生活の場であることをご理解頂き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【項目7】

昨年の自己評価にもございますように、給食のメニューは決められた物を使用しており園独自で大幅な変更をすることが難しくなっておりますが、調理員とも相談しながら昼食・午後おやつを決めさせて頂いております。

配膳に調理が入ったり行事食の際には直接説明を行ったりすることで、作っている人の存在を知り、食材に興味・関心を持ち、調理が喫食状況を直接把握することにより次回に活かせるようにしています。

サイクルメニュー導入による成果もみられています。1回目で1口でも食べられたことで味を知り更に食べられたという自信に繋がり、2回目の提供時にはおかわりをするまでになったお子様もいらっしゃいます。引き続き調理と連携していきながら、給食やおやつ時間が楽しいものとなるようにして参ります。

【項目8】 不満に思ったことや要望を伝えたとき、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか

8割の方にご満足いただけている一方で、2割の方々からはどちらともいえないとのご回答がございました。直接頂きましたご意見やご質問につきまして、その場で回答させて頂いているものとすぐに対応できないものとがございました。頂きましたご意見につきましては、すぐに職員に共有し対応できるものについては迅速に対応しております。しかしながら、認識の違いから、クラスごとに対応が変わってしまうことがあり、保護者様に混乱させてしまうことがあり申し訳ございませんでした。職員との共有の時間をもっと取れるようにし、頂戴しましたご意見を真摯に受け止め今後も丁寧に対応して参ります。

【項目9】 当園に満足されていますか

6割の方にご満足頂けておりますが、いいえ、どちらともいえないに回答されている方もいらっしゃいます。当園をご利用頂く全ての方に今後ご満足いただけるように精進して

参ります。お子様のことを第一に、保護者様との信頼関係を築き、お子様の成長を共に見守り喜び、安心して通って頂けますように、今回のアンケートを職員と共有し改善できるところは改善し、一人一人の保育の質の向上・保育に対する意識を高めていきながらより良い環境を整えて参ります。

2. 社員自己評価に関して

【当社姿勢目標の順守に関して】

社員は出勤時に必ず、前日の出勤日の振り返りを行っております。前日の出勤で自分が出来たこと、出来なかったことを振り返ることで、自身に足りないものを再認識しています。

姿勢目標である、報告・連絡・相談・把握の部分に関しては、3階建てのためクラスに入っていると他のクラスの状況把握が難しく、他クラスとの繋がりをもっと大切にしていかなければいけないと感じた1年でした。まずは横との連携→次に縦の連携が図れるようにしていきたいと思えます。早番保育士・遅番保育士、土曜日保育士とで職員が違うため、保護者の方への伝達・保護者の方からの質問など報告・連絡が抜け落ちないように十分に気を付けていきます。

【コドモンを用いた保育計画に関して】

コドモンを使用して保育計画・児童票の作成を行うことで、作業効率を上げることが出来る。また、連絡帳の内容が反映にされること、体調面や個々の気になる点などを個別に記載することもでき振り返ることが出来ます。月案、週案ともに連動されることにより、保育計画が把握しやすくなっています。

【保育の成果】

・食育活動

今年はスイカ割り、野菜の栽培、ニンジンの型抜き、サツマイモ洗い、みかんジュース作り、そして季節の野菜に触れ、5歳児クラスは午後のおやつ作りのお手伝いをしました。

コロナウイルスの緩和と共に、実際に食材に触れてみたり、収穫した物を食べてみたり自分たちで作った物を食べたり飲んでみたりしました。

4, 5歳児クラスが育てたピーマンは豊作で、たくさん収穫することができたので、調理さんと相談して、無限ピーマンにしてもらい4, 5歳児のお友だちだけですが少しずつ分けて食べました。水やりをして大切に育てたピーマン。実がなると「〇個になった」と

毎回チェックして成長を喜ぶ姿も見られました。でも、ピーマンが苦手なお友だちも・・・普段なら口にしないピーマン、勇気を出して自分から進んで食べ「おいしい」と笑顔の子どもや「全部は食べられないけど少し食べられた」と喜んでおうちの方に教える姿が見られました。

自分たちで育てたこともあり、普段食べるピーマンより一層美味しく感じたのではないのでしょうか。育てる大変さ、作る人への感謝の気持ち、苦手な物を食べることに挑戦する心、食育活動を通して今後も子どもたちが感じたことを大切にしていきたいと思います。

・アートプログラム

今年度より先行導入としてキッズ浦和常盤園ではアートプログラムを実施しております。季節の制作や豪快な絵画制作を楽しんできた子どもたちです。担任保育士ではない方が主導となり、子どもたちにとっても貴重な時間になっていると思います。

その中でも、後半0歳児クラスの子どもの成長を感じることができました。椅子に座って活動が出来るようになり、また様々な物に興味を示すようになってきたひよこぐみの子どもたち。

ビーズや切ったストローなど、細かい物を指先でしっかり摘まみとても真剣な表情で紐通しを行っていました。はじめは先生と一緒にやったことが、慣れると自分で黙々と通すことができ、指先の使い方にも成長を感じることができました。指先は第2の脳と言われ、幼少期にたくさん指先を使うことで創造力、思考力、集中力を身に付けることができます。0, 1歳児クラスでのビーズやストローなどの細かな素材は、大人の目がたくさんあって使用することができる物だと思います。普段の保育では出来ない物を今後もアートプログラムに取り入れて頂きながら、子どもたちが自由に表現しアートを楽しんでいけるようにサポートしていきたいと思います。

・親子ふれあい運動会、生活発表会

今年度は、3部制による運動会・生活発表会を行わせていただきました。会場の関係から運動会は親子ふれあいとさせて頂き、保護者様と一緒に楽しんでもらえるように企画させていただきました。開園当初より人数が増えていることから、大きな会場を借りて行うことや1クラスずつの開催など今後についてしっかり検討していくことが必要と考えております。親子ふれあい運動会を終え、「楽しかったです」「子どもの成長を見れました」というお声をいただきありがとうございました。

生活発表会では、練習とは違う雰囲気や乳児クラスでは涙を見せ固まる姿や保護者様に一緒に前に出て頂く場面もあり、ご対応頂きました方には感謝申し上げます。一年の集大成である生活発表会を終えてのアンケートを今後取らせて頂きたいと思います。

昨年度とはまた違った形での行事開催だったかと思います。今後も保育の中で行う行事・保護者様にご参加頂く行事を見直し子どもの負担とならないよう、さらにその年だけ

にならないように、しっかり継続して行っていけるよう話し合いを重ねて参りたりと思います。

3. 園としての自己評価に関して

・当社（全園共通）の保育理念に関して

生活習慣の形成の促しについては、各クラス子どもたちの年齢に応じた段階的な取り組み、興味・関心を元に個々に合った対応を行ってきました。家庭環境や体調、気分により子どもの気持ちも変わります。褒められることが嬉しくて頑張る子ども、気分が乗らない子ども、時には甘えたいときもありますね。個々の気持ちをしっかり受けとめながら丁寧な保育を心がけてきました。

集団の生活の中でも主体性を大事に、保育士側の一方的な保育とならないように、自分自身で考え選択すること、悩んだ時には導いていけるよう関わっていますが、試行錯誤しながらの保育となっているのが現状です。

将来的に国際社会で活躍できる人を育てるところに関しましては、開園して3年目のためまだ確立できていませんが、生活発表会では4、5歳児クラスが手話を取り入れた発表を行いました。導入として、手話がどのような人が使うのかどんな手段となるのか子どもたちに伝えてから始めました。日本だけに限らず世界でも耳の聞こえない方や様々な方がいると思います。第一歩として、知るきっかけを作ることが出来たと思います。

今後も「きっかけ」を大切に、身近な曲を使って様々な国の言葉に触れられる機会を作り少しずつ保育理念に近づけるように保育計画を立てていきたいと思っています。

・当園の保育目標に関して

今年度目標にあげておりました3つの目標につきまして、

- ① よく食べ、よく寝て、よく学び、基本的な生活習慣を身に付ける
- ② 健康的な心と体を育む
- ③ 人を思う優しい気持ちを育む

『よく食べ』の部分では、好き嫌いが出てくる乳児期から3、4歳ごろまで野菜に対する苦手意識が高まり、見た目嫌と言う子どもたちもいます。特に2歳、3歳児クラスでは毎日の残食が多く、給食時間がより短い事が気になり一人ひとりと向き合いことば掛けを重ねていきました。1歳児クラスでも無理矢理食べさせるのではなく、食べてみようと思ふことば掛けをすることや保育士が介助することで食べてみる子どもの姿も。

また、体をたくさん動かすことでお腹が減るという感覚を覚え以前より食べる量が増えたお子さんもいましたので、今後も保育計画に取り入れながら子どもたちが心身ともに豊

かに育つよう今後も継続して参ります。

「人を思う優しい気持ちを育む」という目標に関しましては、朝や日中・夕方の異年齢児保育を通して年下のお友だちに優しく接する場面が見られました。戸外活動時には、お姉さん、お兄さんと手を繋げることを喜び、お話をしっかり聞いてお約束を守る姿もありました。幼児クラスになると、泣いているお友だちや怪我をしたお友だち、お休みが続いているお友だちの心配をしているお子さんもいます。今後も、活動の中で異年齢児の関わりを持つ時間を作り、人を思いやる気持ちを大切にしていきたいと思えます。

来年度の保育目標

- ・しっかり体を動かし、食事・睡眠を充分にとり心も体も健康に笑顔で過ごす。
- ・基本的な生活習慣を身に付け自信を持って生活する。
- ・様々な事に興味を持ち、探求心を育てる。
- ・異年齢児で関わっていく中で、やさしさ・思いやりの心を育む。

以上を目標とし、1人1人に寄り添う丁寧な関わりを大切に、保育教材や保育環境を整え向上心を持って保育にあたれるよう、日々精進して参ります。

今年度、管理者や職員の年度途中による入れ替わりがあり、保護者の皆様にはご心配をおかけし、またご不安なお気持ちにさせていただきましたことを大変申し訳なく思っております。そのような中でも、アンケートを通して職員に対しての感謝の思いや、お気遣い頂くお言葉をお送りいただき、大変嬉しく思っております。お送りいただきましたお言葉が職員の励みとなり自信へと繋がります。

これまで、様々な場面でご理解・ご協力頂きましたこと心より感謝申し上げます。今後ともよろしくごお願い申し上げます。